



# 浜田まさとし通信

発行所：公明党川崎市議団 発行人：浜田まさとし 川崎市小田7-2-1-214 Tel.333-4512 Fax355-5192

HPアドレス <http://www.m-hamada.com> 印刷所：光明印刷 川崎市幸区塚越4-345

## 適切な障害福祉を！ 新しい市民農園の広報を！

12月18日、市議会定例議会の一般質問で、(1) 高齢障がい者への福祉サービス、(2) 新しい市民農園と「農」のある暮らしの提案、の2点について取り上げ、市の取り組み強化と市民広報の充実を求めました。



### 障害福祉と介護保険の連携を！

64歳まで障害福祉サービスを受けていた人に対して、65歳になった時に同様の福祉サービスが介護保険にもある場合は介護保険を優先するという原則がありますが、平成19年に厚生労働省は「一律に介護保険優先とはしない」という通知を出し、一人一人の状況に応じて判断するようとしています。しかしながら、このことが市民にキチンと伝わっておらず、場合によっては担当職員にも十分に伝わっていないのではないかと思われることから、広報の充実と担当職員への研修を要請しました。

健康福祉局長は、「川崎市内で平成25年4月に64歳で障害福祉サービスを受けていた人は71人いましたが、そのうち1年後の26年4月、65歳になってからも障害福祉サービスを受けていた人は45人、ホームヘルプを継続して受けていた人は20人でした。今後、市民ならびに関係者への適切な情報提供に努めていきます」と答弁しました。

### 「農」のある暮らしの提案を！

全国的にこの20年で市民農園が6倍に増える中(神奈川県が増加率1位)、川崎市内でも株式会社が運営する新しい市民農園が増え、60代以上の新しい利用者も増えつつあることから、市としての支援充実と、「農」のある暮らしの提案として60代以上を含む

市民への広報強化を求めました。

経済労働局長は、「いわゆる市民農園には、市が開設・運営する川崎市市民農園をはじめ、株式会社が運営する市民ファーム農園など5種類のタイプがあり、市内に合計36か所の市民農園があります。市民が『農』にふれる機会として重要と考えるので支援策の充実を図り、援農ボランティアを育成する『みのり塾(麻生区黒川地区で1年間にわたり月2回、野菜の栽培技術や里山管理を講義・実習)』や『かわさきそだち栽培支援講座(多摩区の農業技術支援センターで2年間にわたり月1回、野菜や梨の栽培技術を講義・実習)』なども含め、市民広報に努めていきます」と答えました。

### 議会質問で一歩前進！

#### 重度障がい者の移動支援にガソリン代も！

川崎市では現在、歩行困難な重度障がい者の移動支援としてタクシー券が1ヶ月3,500円分(週3回以上通院している人は7,000円分)助成されていますが、平成27年度分が交付される3月以降に個別に意向調査を行い、28年度から新たにガソリン代への助成も選択可能になる予定です。

平成26年6月議会で、浜田が市民の声を受けて議会質問したテーマです。これからも市民の声に素早く反応する温かい市政をめざしてまいります。

# 皆さんの声の実現しました！

綱管通1丁目



古くなりカマボコ型になっていた道路を改修

大島第2公園



雨水とともに土が流出しないよう緊急対応、引き続き本格対応の予定

偏浜1丁目



木の根でデコボコになっていた歩道を改修

殿町小学校前



右折車線がわかりにくかった交差点に右折通行帯を路面標示

### お知らせ

## 高齢者の肺炎球菌ワクチン助成が行われています！

今年度(平成26年度)から65歳以上の市民に対する肺炎球菌ワクチンの公費助成が始まりました。

今年度(平成27年3月31日まで)の対象者は、3月31日までに65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる市民です。また、今年度(平成27年3月31日まで)に限り、101歳以上の市民も対象となります。自己負担額は4,500円(市県民税が非課税の世帯は免除)で、川崎区内では65の医療機関で実施しています(予約が必要な場合もありますので、事前に電話してください)。

この5歳きざみの対象者での実施は、平成30年度までの5年間続き、5年間で65歳以上の全ての市民が対象となります。

お問合せは川崎区役所・地域保健福祉課まで(電話：044-201-3211)。